

2020年 新年特別号

穏やかな「改革」

社会福祉法人日本心身障害児協会
理事長 河 幹夫

我が国では、20世紀末から「改革」が流行するようになった。東西の冷戦が終焉し、「保守主義と革命主義」などの大きな歴史も終わり、中庸としての「改革」に魅力を感じる人が多かったということであろう。

その結果、数多くの改革が生み出されたわけであるが、果たして「改革その後」の検証はなされているのだろうか。政府で「改革」の渦中にいた者として、密かに自負していることもあり、人々の経験や慣習をもう少し優先するべきではなかったかと感じていることもある。特に重症心身障害児・者の社会サービスについては、利用者の生活に根差すものであるだけに、そして臨床の知識や経験から形成され蓄積されてきたものであるだけに、改革は穏やかなものであるべきだと考えて

きた。

日本の社会は一勤勉であるだけに一改革を急速にやろうとする傾向があり、一方、人間には怠惰である面があり、現状を維持し、楽をしたいと思う生き物でもある。このような中で穏やかな「改革」を継続することは困難なことではあるが、私たち、社会サービスの担い手たちの職責なのではないだろうか。

今年も、与えられている空間と時間の中で、誠実に足下を見つめつつ、ともに歩き続けていきたいと思う。明けましておめでとうございます。



経営者一同より新年のご挨拶を申し上げます





2019年の思い出

2019年はたくさんの出来事がありました。2020年も良い年でありますように。



発行者

社会福祉法人 島田療育センター
日本心身障害児協会
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <http://www.shimada-ryoiku.or.jp>

